



こう ちょう し つ  
**校長室だより**

おおさか しりつたかどのしょうがっこう  
大阪市立高殿小学校

06-6951-3344

しゅく ろくねんせい そつぎょう  
**祝！六年生のみなさん ご卒業おめでとう！**

「そつぎょう いわ かい  
**『卒業を祝う会』**は、とても **素晴らしく、感動的**でした！！



みなさん、こんにちは。3月7日(木)に『卒業を祝う会』が開催されました。5年生が中心となり企画・運営を行いました。6年生に贈る「記念のメダル」は、在校生すべての学年・児童がかかわり、心をこめて完成させました。

「卒業を祝う会」の最初に、6年生が1年生と手をつないで入場しました。5年生が「お花のアーチ」を準備して、入場を歓迎しました。みんな大きな

拍手で迎えました。6年生は堂々と胸を張って、自信に満ちた表情です。1年生は、手をつないでもらい、とてもうれしそうです。私は、サッカーなどの国際試合の代表選手入場の場面を思い浮かべ「6年生、とても立派に成長した！」とうれしくなりました。次に運営委員から開会のあいさつの後、1年生、2年生、3年生、4年生、5年生の順番で、6年生へのお祝いのメッセージと感謝の気持ちがこもった歌のプレゼントが披露されました。特に、「リーダーのバトン」を受けとる5年生から、「高殿の良き伝統を引き継ぎます！」と力強い決意表明がありました。運営委員さんの司会も立派でした。

6年生からは、在校生の心遣いに感謝するお礼のメッセージとすてきな演奏が披露されました。一曲目が終わると自然に「アンコール！アンコール！」の声があがります。「皆さんのご期待にお応えして、もう一曲演奏させていただきますもよろしいですか？」と6年生からの返事に、大歓声があがりました。二曲目エヴァンゲリオンから「残酷な天使のテーゼ」も最高学年にふさわしい素晴らしい演奏となりました。最後に6年生手作りの雑巾が各学級に贈呈されました。お返しに在校生を代表して1年生から心のこもったすてきな「記念のメダル」を贈りました。「卒業を祝う会」は大成功となりました。とても素晴らしい内容でした。この「卒業を祝う会」を見届けることができ、私はとても幸せです。

この日の午後、3年生の教室を訪問しました。「校長先生、卒業をお祝いする会、良かったね。もしかして祝う会のお話の時に、校長先生泣いてた？」と問われ、「うん。すてきな会だったね。」と答えました。高殿小学校長 梅原 直人



# 文部科学省LDX(リーディング デジタル トランスフォーメーション)事業 生成AIパイロット校 成果報告会

2月20日(火)ベルサール東京日本橋ホールにて、文部科学省リーディングDXスクール事業生成AIパイロット校成果報告会がありました。本校からはICT推進リーダーの阿部先生と校長が出席しました。



## 【全体会・基調報告・講演会】

全体会・基調報告では、文部科学省担当官より研究実践への感謝と、令和6年度以降の研究指定の継続について依頼がありました。記念講演では、生成AIやクラウドを活用したICT教育について方向性が示されました。実践校によるパネルディスカッションでは、生成AIの教育・校務利用による成果やアイデアが好事例として報告されました。

## 【ポスター発表会は大盛況でした。】

小学校の指定校は全国でわずか4校のみ。本校の展示場所は、会場入口正面の中央でした。研究指定校、各教育委員会、教育関係・企業関係の方が多数来られました。報道から取材も受けました。

## 【これは本校が成果報告会で使用したポスターです。】

**大阪市 生成AIパイロット校 大阪市立高殿小学校**

児童数：620人 教職員数：48人

**取組概要** 情報モラル教育と国語科の授業等で生成AIを活用  
授業案の作成において生成AIを活用

---

**授業実践（国語科 6年）**

**心が動いたことを十七音で表そう**

**01 作った俳句に生成AIからアドバイスをもらう**

「ちよと納得 てるい部分もあるんだけどー」

「なるほど！ こういう視点もあるのか！」

**02 友だちと意見交換し表現を工夫**

「友だちのアドバイス、生成AIのアドバイス、いいところできていい俳句になった！」

**03 俳句を仕上げる**

**<児童の声>**

- 生成AIからのアドバイスは、納得できない部分もあったけれど、参考になる部分もあった。友だちと相談して、自分なりに工夫できた。
- 五・七・五のリズムのアドバイスは全く参考にならなかったけれど、オノマトペの例をたくさん出してくれてよかった。
- 「切れ字」など難しいアドバイスもあったけれど、自分なりに調べた勉強になった。

**<教員の声>**

- 自分の作品に対して、個別にコメントが返ってくるのがうれしかったという感想が多かったです。ここまで詳細なコメントを個別に返すことは難しかったので、生成AIを利用するメリットは大きいと考えます。
- 読解力やリテラシーを高める取組の必要性をより一層感じました。
- 今後は、友だちとの意見交換や振り返りの場面など、どの観点に注目し、どのような根拠に基づいて判断したのかを説明する機会をより一層増やしてまいります。

---

**授業実践（情報モラル教育 4～6年）**

**生成AIについての正しい知識を身につけよう**

**01 AIについて知る**

人工知能  
人が作った 考える力  
（生成AIを含む）  
新しいものを作る力（人工知能）

**02 生成AIと人間が作成した文章を比較する（物語、詩、ニュース記事）**

**03 情報を得る時の注意点を考える**

**<児童の声>**

- 生成AIが作った文章かどうかを見分けるのは本当に難しかったです。近頃の友だちの情報は正しいとすぐ信じているのではなく、しっかりと見分けるようになりたい。

**<教員の声>**

- 児童は、自分自身の経験や知識をもとにして積極的に意見交換し、情報モラルやリテラシーの基礎を体験的に学ぶことができました。
- 児童は、予想以上に生成AIについて知っており、今後は積極的に指導に取り入れていく必要性を感じました。

## 【教育利用の実践事例として、本校が研究開発した授業内容2本を文科省に報告いたしました。】

4～6年生の情報モラル教育「AIについての正しい知識を身につけよう」と、6年生の国語科「心が動いたことを十七音で表そう」の実践は、好事例として大阪市の教育ポータル「waku×2.com-bee」にも掲載されました。

様式B-5

**リーディングDXスクール事業【実践事例】** 大阪市立高殿小学校（大阪市）【指定校】

**<教育利用> 情報モラル教育「AIについての正しい知識を身につけよう」**

**事前準備**

- 生成AIを利用して作成された画像を準備
- 2つの比較資料や情報を選択  
・物語、詩、新聞記事の複数  
・一方はCopilotを利用して作成

**学びを深めるために**

友だちの考えの変化をリアルタイムに参照できるようにするために、クラウドを活用する。

**児童の反応**

生成AIが作成したかどうかを見抜くのはとても難しかったです。インターネット上の情報をすぐに信じるのではなく、様々な資料と照らし合わせたり、自分の経験をもとにして考えたりすることが大切だと感じました。

**授業の流れ**

- AIについて知る**  
生成AIを利用して作成された画像の制作期間について考え、AI（生成AIを含む）についての基本的な知識を確認する。
- 2つの資料や情報を比較する（物語、詩、新聞記事）**  
資料や情報を比較し、どちらがCopilotを利用して作成したものかを予想する。クラウド上で共有された友だちの考えを参照しながら、判断の根拠を明らかにして説明する。  
※ 判断するための観点については、全体で段階的に確認する。
- 自分の考えをまとめる**  
本時に学んだことを振り返り、今後、どのように生成AIを活用したいのかについて、自分の考えをまとめる。

様式B-6

**リーディングDXスクール事業【実践事例】** 大阪市立高殿小学校（大阪市）【指定校】

**<教育利用> 国語科「心が動いたことを十七音で表そう」**

**事前準備**

- 児童が作成した俳句をMicrosoft Formsで回収
- Copilotを利用して、修正のポイントを記載した個別のアドバイスを作成

**学びを深めるために**

必要に応じて、Teamsで共有された俳句の一覧を参照したり、インターネットで調べたりする。

オノマトペの例を知りたいときなどは、指導者によるCopilotのプロンプトの代理入力により、アドバイスを返却する。

**児童の反応**

生成AIからのアドバイスは、納得できない部分もあったけれど、友だちと相談して、いくつか参考になりました。オノマトペの例をたくさん出してくれてよかった。「切れ字」などの難しいアドバイスは、自分なりに調べることができました。

**授業の流れ**

- 生成AIからのアドバイスを確認**  
指導者がCopilotを利用して作成したアドバイスを確認する。近頃の友だちと交換して、アドバイスの違いを比較する。
- 俳句の表現を工夫する**  
Copilotや友だちからのアドバイスを参考にし、俳句の表現を工夫する。  
わからないことがあれば、必要に応じて、Teamsで共有された俳句の一覧を参照したり、インターネットで調べたりする。  
友だちへアドバイスを送る際は、自分の考えの根拠を明らかにして、説明する。
- 自分の考えをまとめる**  
表現を工夫する際に、Copilotや友だちからのアドバイスの部分を参考にしながら振り返る。